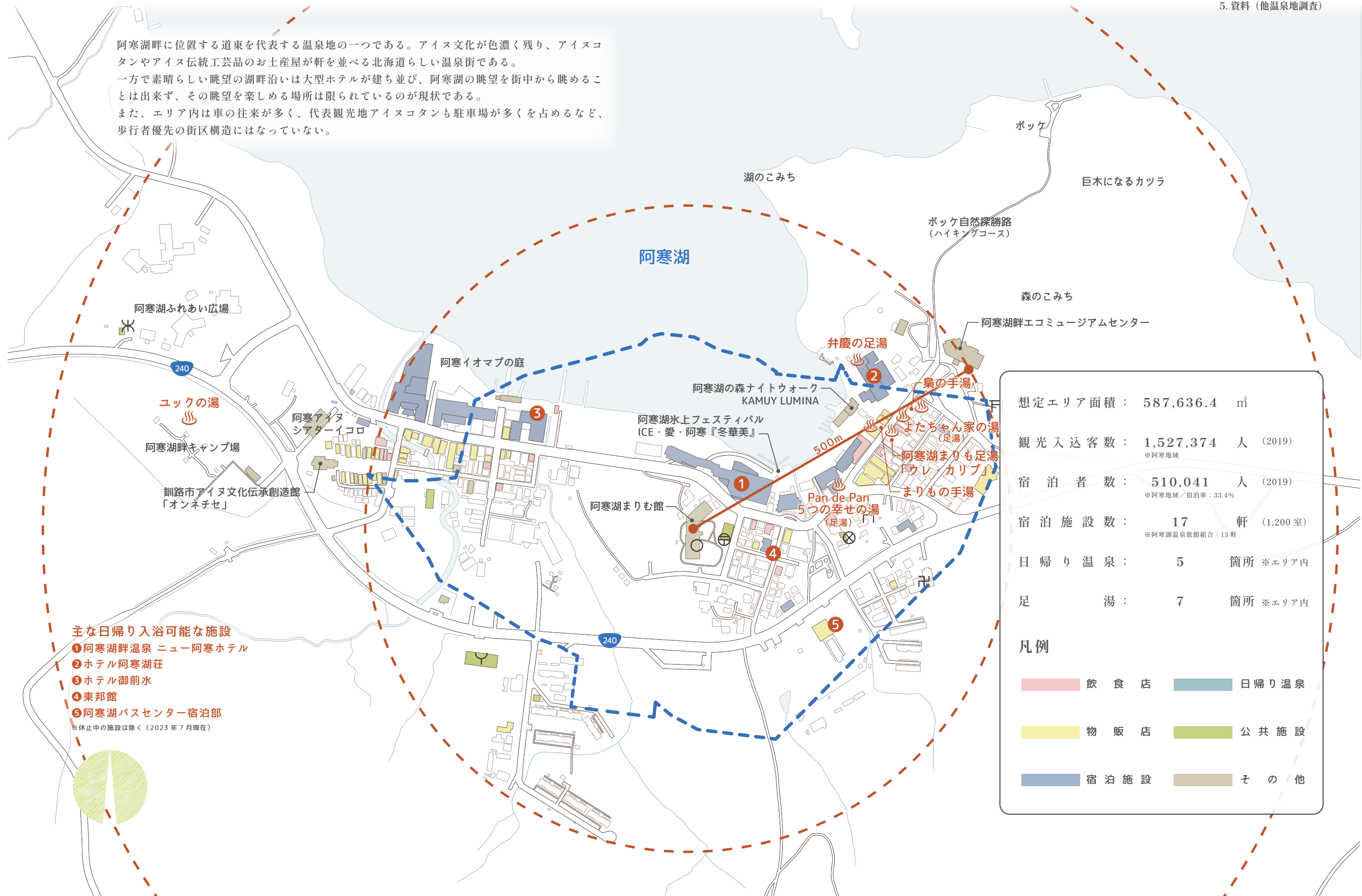


5. 資料（他温泉地調査）

阿寒湖畔に位置する道東を代表する温泉地の一つである。アイヌ文化が色濃く残り、アイヌコタンやアイヌ伝統工芸品のお土産屋が軒を並べる北海道らしい温泉街である。
 一方で素晴らしい眺望の湖畔沿いは大型ホテルが建ち並び、阿寒湖の眺望を街中から眺めることは出来ず、その眺望を楽しめる場所は限られているのが現状である。
 また、エリア内は車の往来が多く、代表観光地アイヌコタンも駐車場が多くを占めるなど、歩行者優先の街区構造にはなっていない。



想定エリア面積：	587,636.4	m ²
観光入込客数：	1,527,374	人 (2019) <small>※阿寒地域</small>
宿泊者数：	510,041	人 (2019) <small>※阿寒地域／宿泊率：33.4%</small>
宿泊施設数：	17	軒 (1,200室) <small>※阿寒湖温泉旅館組合：13軒</small>
日帰り温泉：	5	箇所 ※エリア内
足湯：	7	箇所 ※エリア内

凡例	
	飲食店
	日帰り温泉
	物販店
	公共施設
	宿泊施設
	その他

- 主な日帰り入浴可能な施設**
- ① 阿寒湖畔温泉 ニュー阿寒ホテル
 - ② ホテル阿寒湖荘
 - ③ ホテル御前水
 - ④ 東邦館
 - ⑤ 阿寒湖バスセンター宿泊部
- ※休止中の施設は除く（2023年7月現在）

自然湧出量は日本一といわれ、湯けむりを舞い上げる湯畑を中心に広がる温泉街。pHは2.0程度と酸性度が非常に高く、雑菌などの殺菌効果がある。草津のシンボルである「湯畑」は毎分4,000リットルのお湯が湧き出ており、湯の花を採取すると共に、湯樋を通し、温度を下げ、各施設へと送られていく。
 によんの温泉100選（観光経済新聞社主催）では、20年連続1位を獲得する人気温泉地。

想定エリア面積：	916,133.6	m ²
観光入込客数：	3,282,793	人（2019）
宿泊者数：	2,251,677	人（2019）
※宿泊率：68.6%		
宿泊施設数：	105	軒（2,457室）
※草津温泉旅館協同組合加盟店		
日帰り温泉：	28	箇所
※共同浴場が19カ所 うち4カ所が町営で観光客も利用が可能		
足湯：	7	箇所

草津温泉スキー場

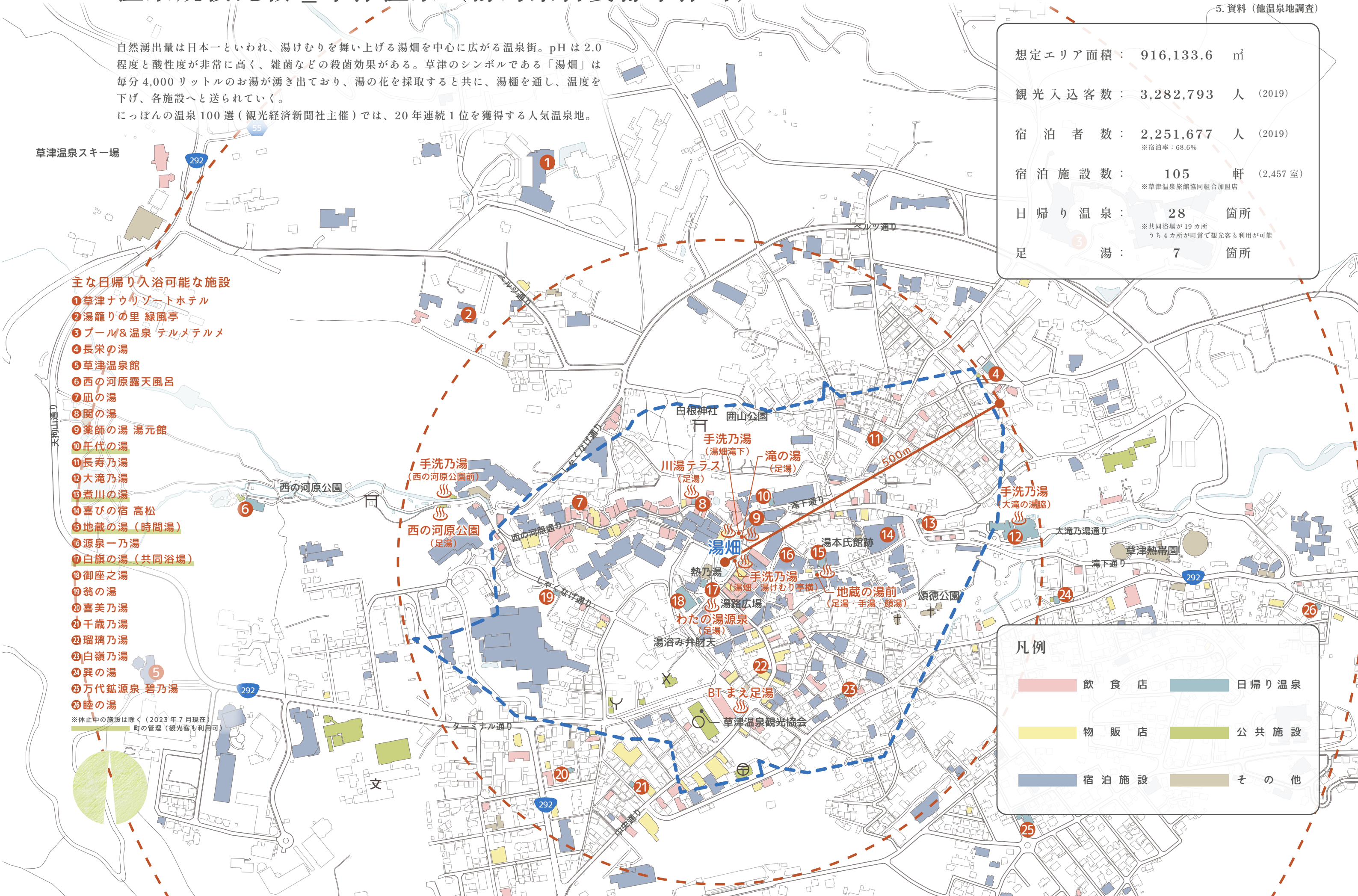
主な日帰り入浴可能な施設

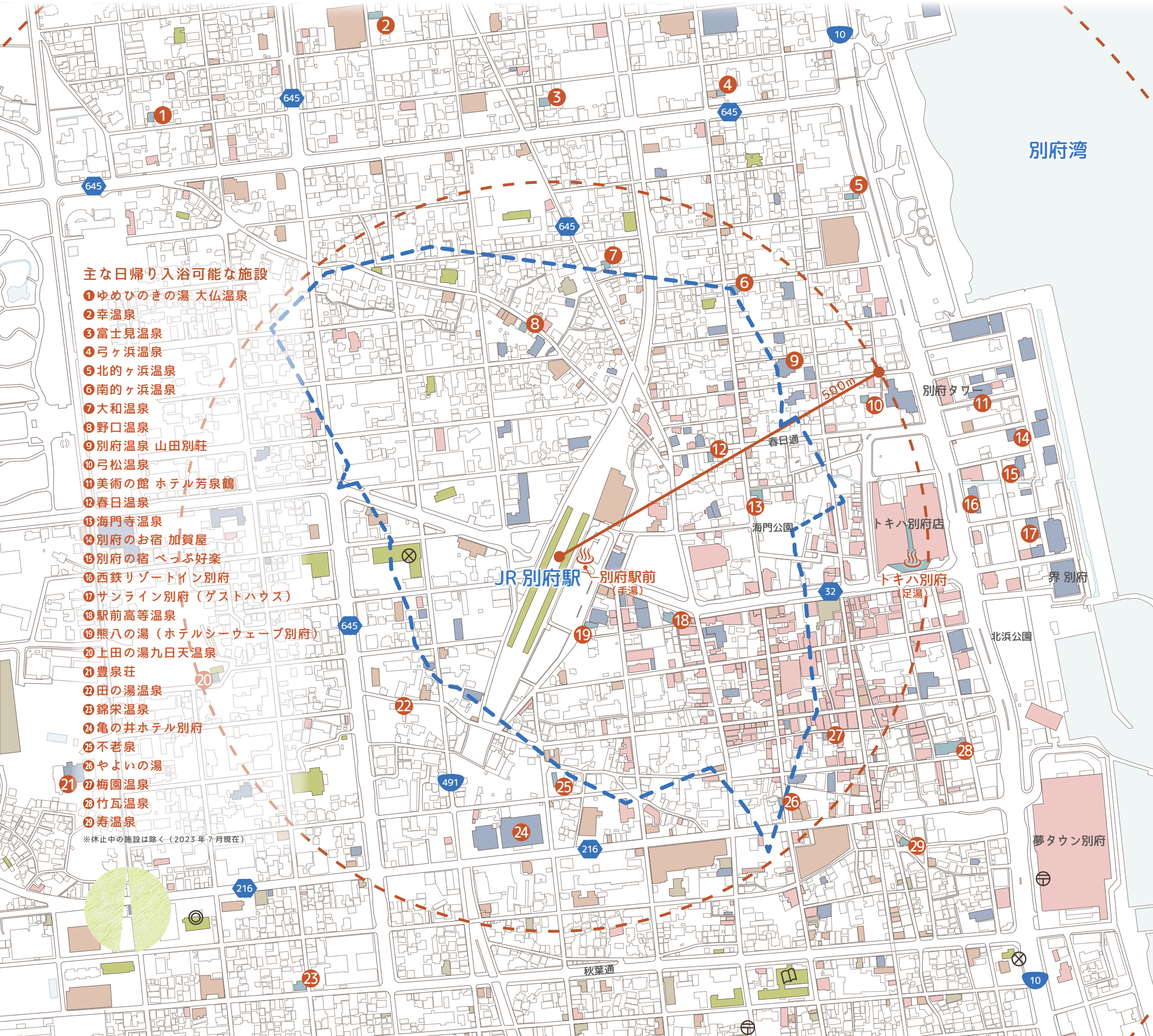
- ① 草津ナウリゾートホテル
- ② 湯籠りの里 緑風亭
- ③ プール&温泉 テルメテルメ
- ④ 長栄の湯
- ⑤ 草津温泉館
- ⑥ 西の河原露天風呂
- ⑦ 凧の湯
- ⑧ 関の湯
- ⑨ 薬師の湯 湯元館
- ⑩ 千代の湯
- ⑪ 長寿乃湯
- ⑫ 大滝乃湯
- ⑬ 煮川の湯
- ⑭ 喜びの宿 高松
- ⑮ 地藏の湯（時間湯）
- ⑯ 源泉一乃湯
- ⑰ 白旗の湯（共同浴場）
- ⑱ 御座之湯
- ⑲ 翁の湯
- ⑳ 喜美乃湯
- ㉑ 千歳乃湯
- ㉒ 瑠璃乃湯
- ㉓ 白嶺乃湯
- ㉔ 巽の湯
- ㉕ 万代鉱源泉 碧乃湯
- ㉖ 睦の湯

※休止中の施設は除く（2023年7月現在）
 町の管理（観光客も利用可）

凡例

 飲食店	 日帰り温泉
 物販店	 公共施設
 宿泊施設	 その他





主な日帰り入浴可能な施設

- ① ゆめひのきの湯 大仏温泉
- ② 幸温泉
- ③ 富士見温泉
- ④ 弓ヶ浜温泉
- ⑤ 北的ヶ浜温泉
- ⑥ 南的ヶ浜温泉
- ⑦ 大和温泉
- ⑧ 野口温泉
- ⑨ 別府温泉 山田別荘
- ⑩ 弓松温泉
- ⑪ 美術の館 ホテル芳泉鶴
- ⑫ 春日温泉
- ⑬ 海門寺温泉
- ⑭ 別府のお宿 加賀屋
- ⑮ 別府の宿 ベブぶ好楽
- ⑯ 西鉄リゾートイン別府
- ⑰ サンライン別府(ゲストハウス)
- ⑱ 駅前高等温泉
- ⑲ 熊八の湯(ホテルシーウェーブ別府)
- ⑳ 上田の湯九日天温泉
- ㉑ 豊泉荘
- ㉒ 田の湯温泉
- ㉓ 錦栄温泉
- ㉔ 亀の井ホテル別府
- ㉕ 不老泉
- ㉖ やよいの湯
- ㉗ 梅園温泉
- ㉘ 竹瓦温泉
- ㉙ 寿温泉

※休止中の施設は除く(2023年7月現在)

想定エリア面積 :	432,042.6 m ²
観光入込客数 :	8,335,773 人 (2019)
宿泊者数 :	2,445,285 人 (2019)
	※宿泊率: 29.3% (北浜・中央地区)
宿泊施設数 :	41 軒 (2,353 室)
	※JR別府駅周辺(別府市旅館ホテル組合調べ)
	※別府市の有料宿泊施設は330件(2021)
日帰り温泉 :	29 箇所 ※エリア内
足湯 :	4 箇所 ※エリア内

凡例	
	飲食店
	日帰り温泉
	物販店
	公共施設
	宿泊施設
	その他

長く西日本を代表する別府温泉街は「別府八湯」と言われ市域全体が湯けむりに包まれる温泉街である。旧くからの温泉街である事からレトロな雰囲気の中に、歓楽街と住民も利用する市営・町会温泉が多く混在する特異な温泉街である。郊外の温泉宿は以前から夕食付きの宿泊施設が多いが、近年中心部を中心にビジネスホテルを含めた素泊まり型宿泊施設が増えつつある。それに伴い飲食店の不足問題が表面化しているのが現状である。

温泉規模比較 _ 黒川温泉（熊本県阿蘇郡南小国町）

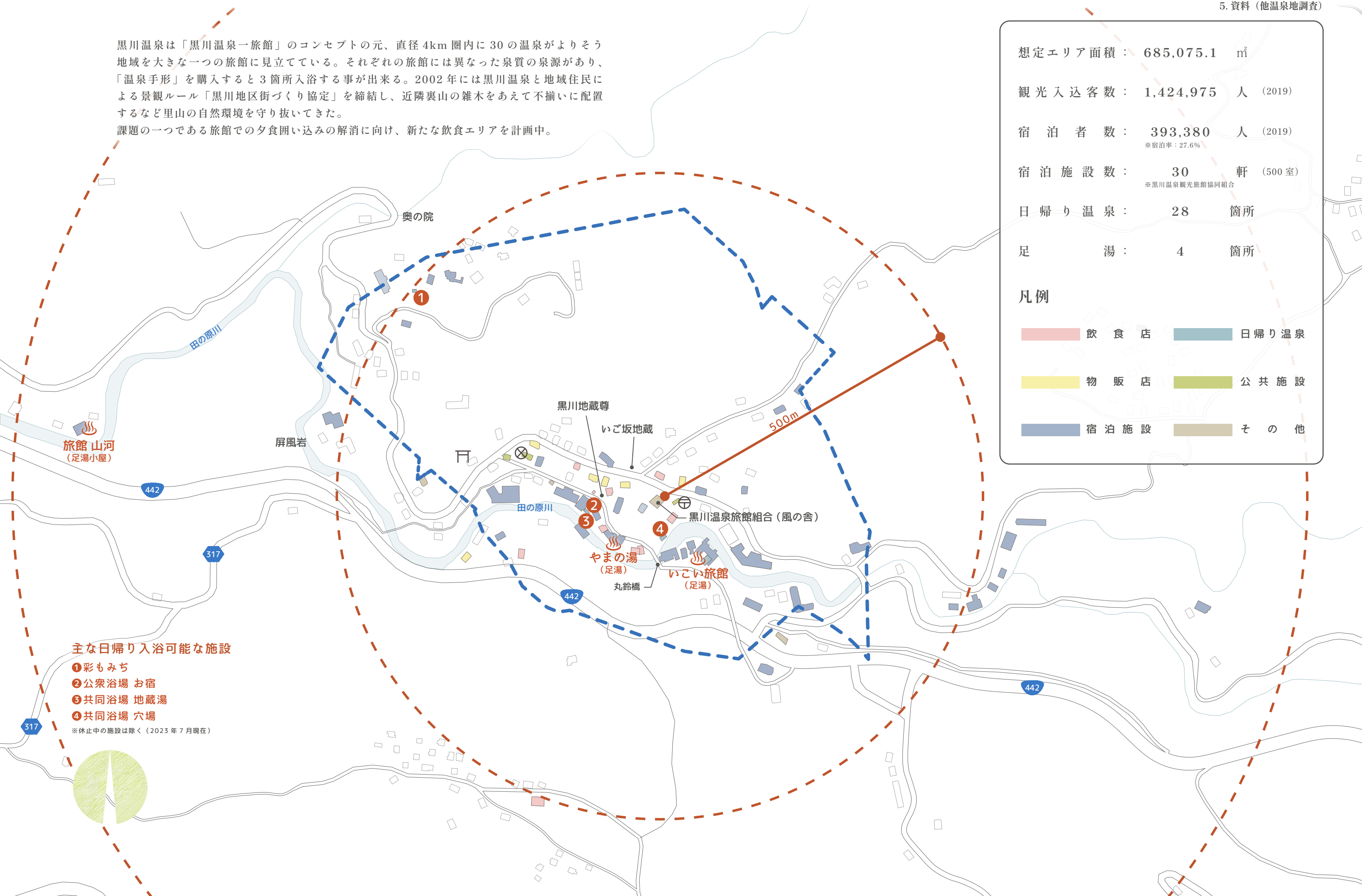
黒川温泉は「黒川温泉一旅館」のコンセプトの元、直径4km圏内に30の温泉がよりそう地域を大きな一つの旅館に見立てている。それぞれの旅館には異なった泉質の泉源があり、「温泉手形」を購入すると3箇所入浴する事が出来る。2002年には黒川温泉と地域住民による景観ルール「黒川地区街づくり協定」を締結し、近隣裏山の雑木をあえて不揃いに配置するなど里山の自然環境を守り抜いてきた。

課題の一つである旅館での夕食囲い込みの解消に向け、新たな飲食エリアを計画中。

想定エリア面積：	685,075.1	m ²
観光入込客数：	1,424,975	人（2019）
宿泊者数：	393,380	人（2019）
	<small>※宿泊率：27.6%</small>	
宿泊施設数：	30	軒（500室）
	<small>※黒川温泉観光旅館協同組合</small>	
日帰り温泉：	28	箇所
足湯：	4	箇所

凡例

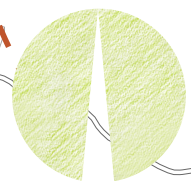
 飲食店	 日帰り温泉
 物販店	 公共施設
 宿泊施設	 その他



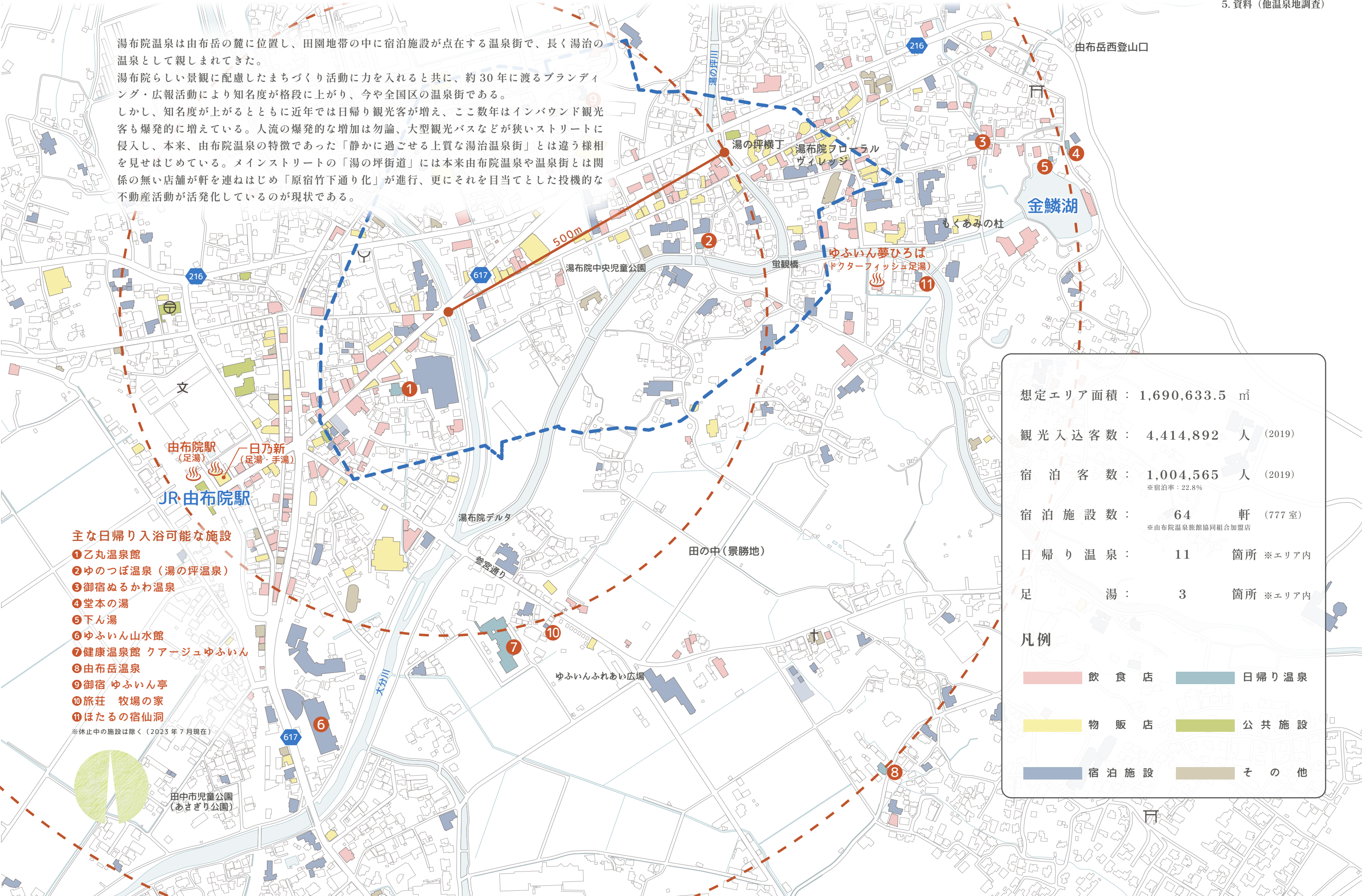
主な日帰り入浴可能な施設

- ① 彩もみち
- ② 公衆浴場 お宿
- ③ 共同浴場 地藏湯
- ④ 共同浴場 穴場

※休止中の施設は除く（2023年7月現在）

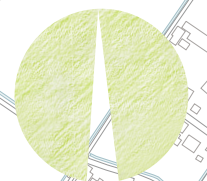


湯布院温泉は由布岳の麓に位置し、田園地帯の中に宿泊施設が点在する温泉街で、長く湯治の温泉として親しまれてきた。
 湯布院らしい景観に配慮したまちづくり活動に力を入れると共に、約30年に渡るブランディング・広報活動により知名度が格段に上がり、今や全国区の温泉街である。
 しかし、知名度が上がるとともに近年では日帰り観光客が増え、ここ数年はインバウンド観光客も爆発的に増えている。人流の爆発的な増加は勿論、大型観光バスなどが狭いストリートに侵入し、本来、由布院温泉の特徴であった「静かに過ごせる上質な湯治温泉街」とは違う様相を見せはじめている。メインストリートの「湯の坪街道」には本来由布院温泉や温泉街とは関係の無い店舗が軒を連ねはじめ「原宿竹下通り化」が進行、更にそれを目当てとした投機的な不動産活動が活発化しているのが現状である。



- 主な日帰り入浴可能な施設**
- ① 乙丸温泉館
 - ② ゆのつば温泉（湯の坪温泉）
 - ③ 御宿ぬるかわ温泉
 - ④ 堂本の湯
 - ⑤ 下ん湯
 - ⑥ ゆふいん山水館
 - ⑦ 健康温泉館 クアージュゆふいん
 - ⑧ 由布岳温泉
 - ⑨ 御宿 ゆふいん亭
 - ⑩ 旅荘 牧場の家
 - ⑪ ほたるの宿仙洞
- ※休止中の施設は除く（2023年7月現在）

想定エリア面積	1,690,633.5 m ²
観光入込客数	4,414,892 人 (2019)
宿泊客数	1,004,565 人 (2019)
	※宿泊率：22.8%
宿泊施設数	64 軒 (777室)
	※由布院温泉旅館協同組合加盟店
日帰り温泉	11 箇所 ※エリア内
足湯	3 箇所 ※エリア内
凡例	
 飲食店	 日帰り温泉
 物販店	 公共施設
 宿泊施設	 その他

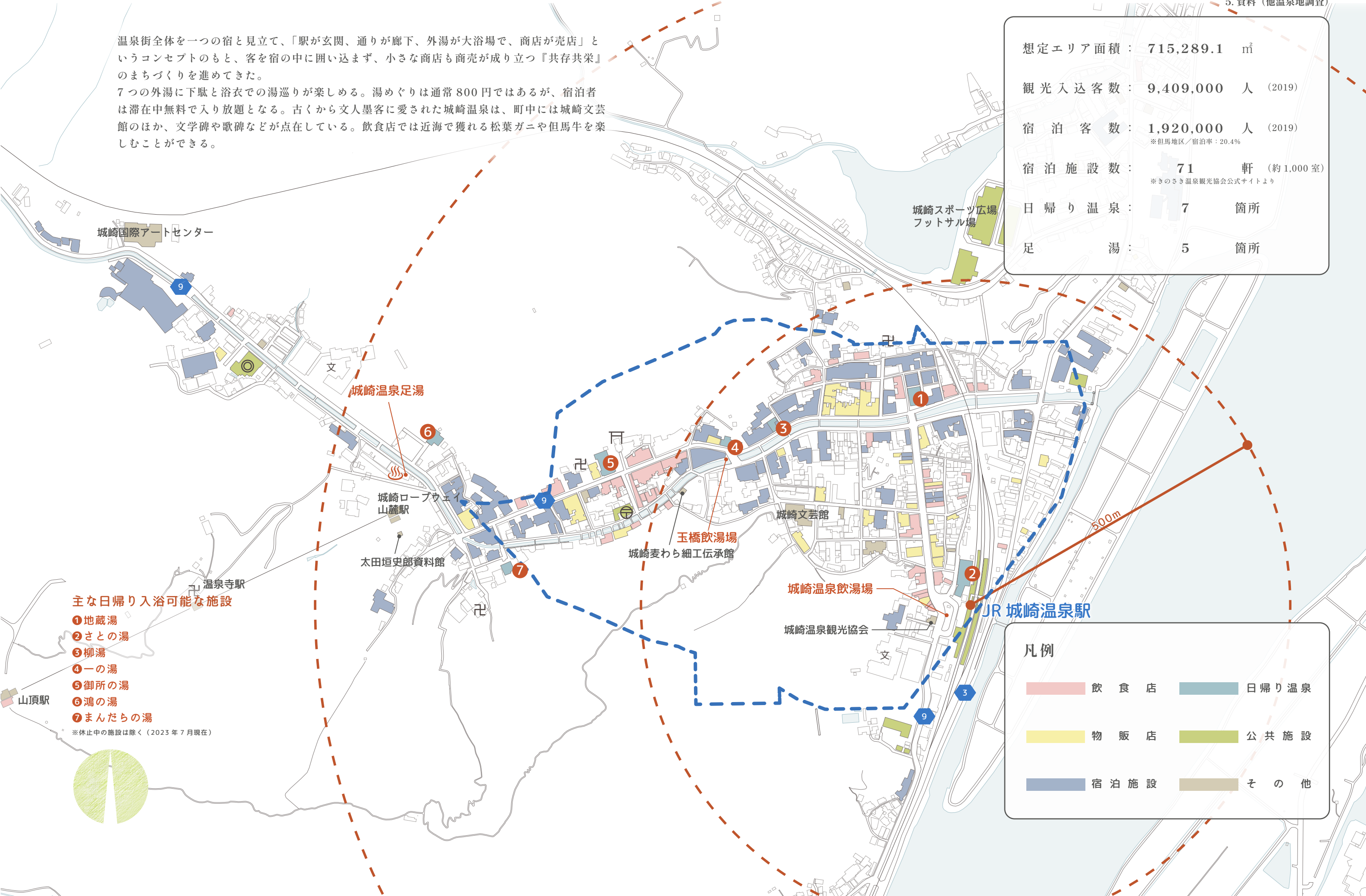


田中市児童公園
（あさぎり公園）

5. 資料（他温泉地調査）

温泉街全体を一つの宿と見立て、「駅が玄関、通りが廊下、外湯が大浴場で、商店が売店」というコンセプトのもと、客を宿の中に囲い込まず、小さな商店も商売が成り立つ『共存共栄』のまちづくりを進めてきた。
 7つの外湯に下駄と浴衣での湯巡りが楽しめる。湯めぐりは通常800円ではあるが、宿泊者は滞在中無料で入り放題となる。古くから文人墨客に愛された城崎温泉は、町中には城崎文芸館のほか、文学碑や歌碑などが点在している。飲食店では近海で獲れる松葉ガニや但馬牛を楽しむことができる。

想定エリア面積：	715,289.1	m ²
観光入込客数：	9,409,000	人（2019）
宿泊客数：	1,920,000	人（2019）
<small>※但馬地区／宿泊率：20.4%</small>		
宿泊施設数：	71	軒（約1,000室）
<small>※きのさき温泉観光協会公式サイトより</small>		
日帰り温泉：	7	箇所
足湯：	5	箇所



主な日帰り入浴可能な施設

- ① 地藏湯
- ② さとの湯
- ③ 柳湯
- ④ 一の湯
- ⑤ 御所の湯
- ⑥ 鴻の湯
- ⑦ まんだらの湯

※休止中の施設は除く（2023年7月現在）

凡例	
	飲食店
	日帰り温泉
	物販店
	公共施設
	宿泊施設
	その他

療養泉として指定される9つの成分のうち、7つの成分が含まれる世界的にも珍しい温泉。
レトロな温泉街の街並みがそぞろ歩きを誘う。神戸から30分程度とアクセスが良く、日帰りでも気軽に立ち寄ることができる。
豊臣秀吉は有馬温泉をこよなく愛し、度重なる天災によって被害を受けた建物や温泉施設の復興に尽力した。そのため、現在も秀吉にまつわる逸話やスポットが数多く残されている。

想定エリア面積：	926,092.7	m ²
観光入込客数：	1,610,000	人（2019）
<small>※有馬温泉地区 ※神戸地域の場合：35,420,000人</small>		
宿泊者数：	-	人（2019）
<small>※神戸地域の場合：4,770,000人</small>		
宿泊施設数：	36	軒（1,669室）
<small>※有馬温泉観光協会調べ／独自調査にて</small>		
日帰り温泉：	20	箇所
足湯：	1	箇所

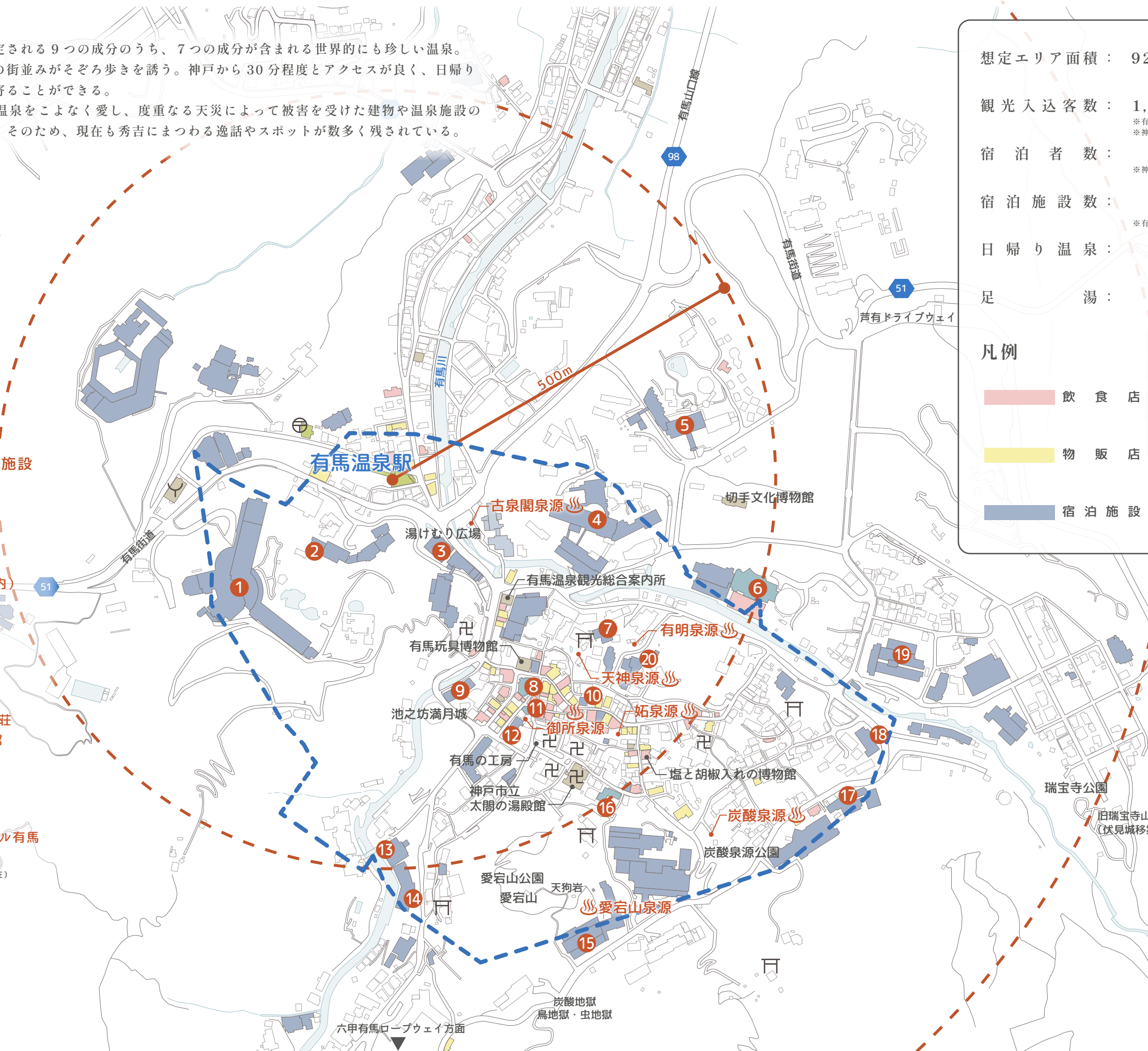
凡例

 飲食店	 日帰り温泉
 物販店	 公共施設
 宿泊施設	 その他

主な日帰り入浴可能な施設

- ①有馬グランドホテル
- ②ねぎや 陵楓閣
- ③有馬御苑
- ④兵衛向陽閣
- ⑤元湯 古泉閣
- ⑥太閤の湯（有馬きりり内）
- ⑦竹取亭別荘 康貴
- ⑧陶泉 御所坊
- ⑨有馬本温泉 金の湯
- ⑩ホテル花小宿
- ⑪上大坊
- ⑫湯屋 松風
- ⑬有馬温泉 月光園 游月山荘
- ⑭有馬温泉 月光園 鴻臈館
- ⑮亀の井ホテル 有馬
- ⑯有馬本温泉 銀の湯
- ⑰有馬温泉 竹取亭円山
- ⑱御幸荘 花結び
- ⑲有馬温泉 ホテルメープル有馬
- ⑳高山荘 華野

※休止中の施設は除く（2023年7月現在）



有馬温泉駅

古泉閣泉源

切手文化博物館

有馬温泉観光総合案内所

有明泉源

天神泉源

妬泉源

御所泉源

塩と胡椒入れの博物館

炭酸泉源

炭酸泉源公園

愛宕山公園

愛宕山泉源

炭酸地獄
鳥地獄・虫地獄

六甲有馬ロープウェイ方面

瑞宝寺公園

旧瑞宝寺山門
（伏見城移築城門）

温泉規模比較 _ 長門湯本温泉 (山口県長門市)

山口県で最も古い歴史を持つ温泉として知られる。36万人をピークに団体客等が減少し、2014年には老舗ホテルが閉業するなど集客に苦戦していた。2019年のシンボルである公共温泉「恩湯」リニューアル、2020年の星野リゾート「界」オープンを盛り込んだマスタープランを元にリブランディングを図る。近年では温泉街の中心を流れる音信川周囲にはカフェ等飲食店がオープン。「おそと天国」をコンセプトに、そぞろ歩きが楽しめる温泉街として再生に取り組んでいる。

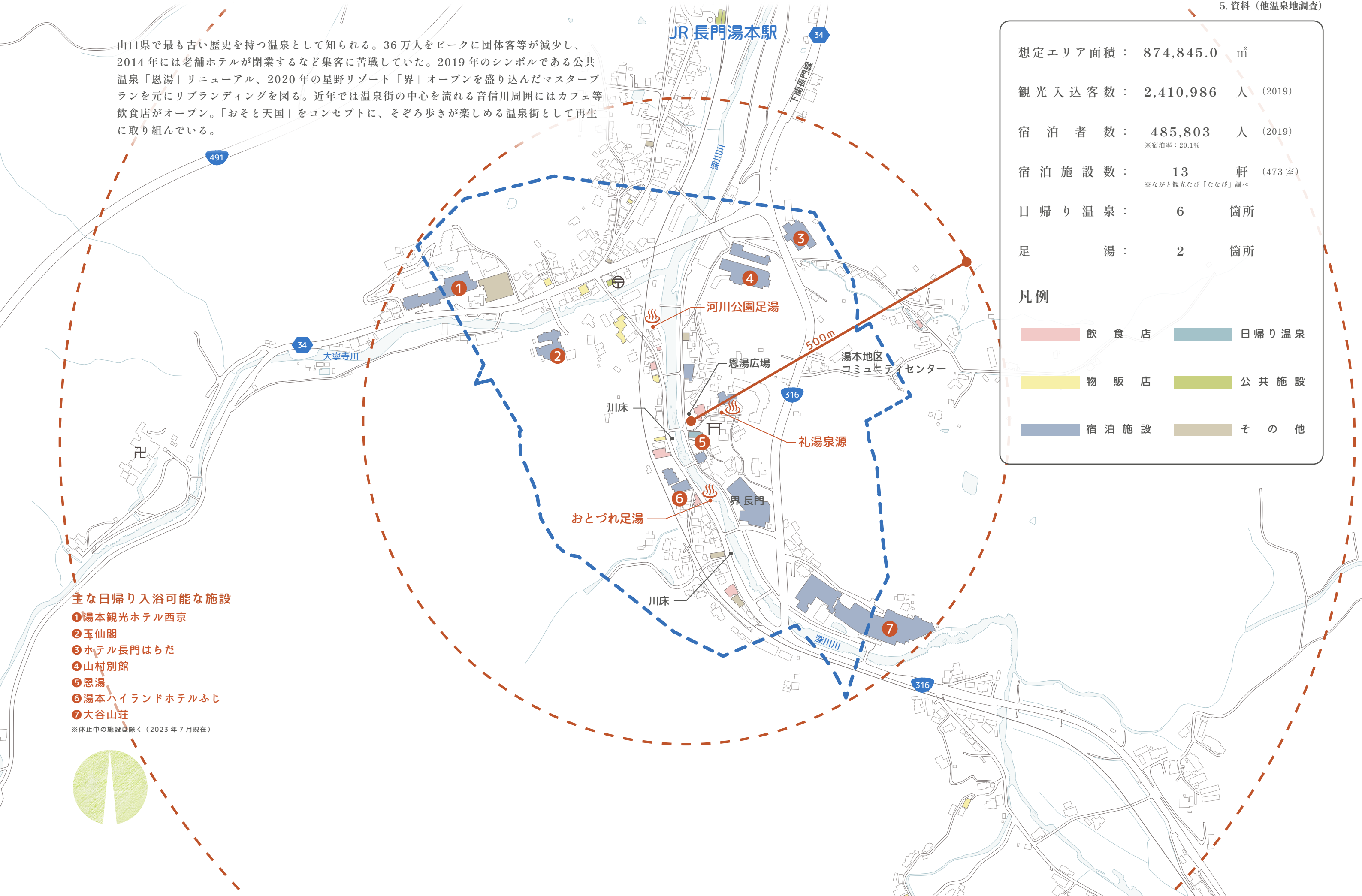
想定エリア面積：	874,845.0	m ²
観光入込客数：	2,410,986	人 (2019)
宿泊者数：	485,803	人 (2019)
	<small>※宿泊率：20.1%</small>	
宿泊施設数：	13	軒 (473室)
	<small>※ながと観光たび「ななび」調べ</small>	
日帰り温泉：	6	箇所
足湯：	2	箇所

凡例	
 飲食店	 日帰り温泉
 物販店	 公共施設
 宿泊施設	 その他

主な日帰り入浴可能な施設

- ① 湯本観光ホテル西京
- ② 玉仙閣
- ③ ホテル長門はらだ
- ④ 山村別館
- ⑤ 恩湯
- ⑥ 湯本ハイランドホテルふじ
- ⑦ 大谷山荘

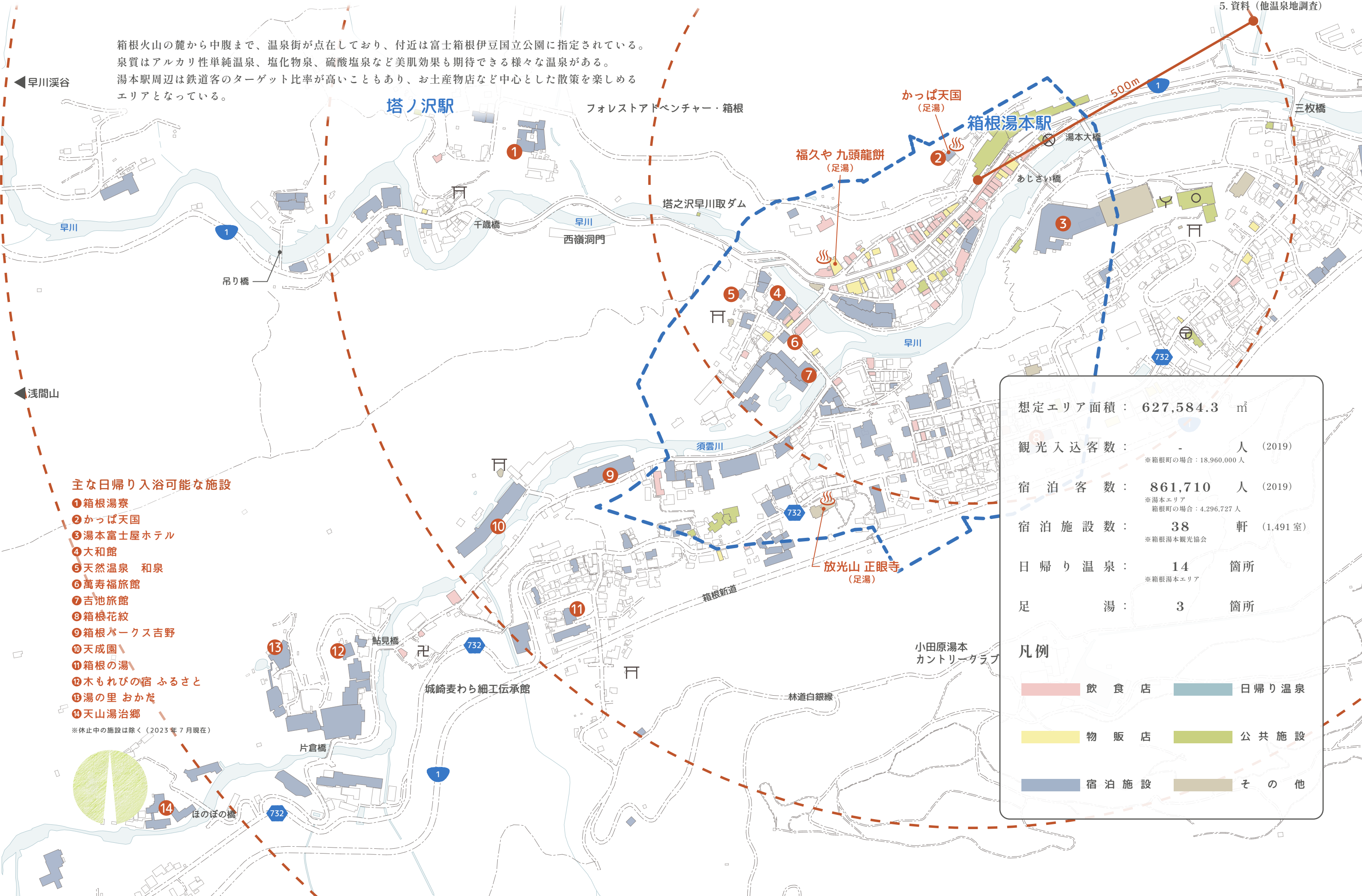
※休止中の施設は除く (2023年7月現在)



温泉規模比較 箱根湯本温泉（神奈川県足柄下郡箱根町）

5. 資料（他温泉地調査）

箱根火山の麓から中腹まで、温泉街が点在しており、付近は富士箱根伊豆国立公園に指定されている。泉質はアルカリ性単純温泉、塩化物泉、硫酸塩泉など美肌効果も期待できる様々な温泉がある。湯本駅周辺は鉄道客のターゲット比率が高いこともあり、お土産物店など中心とした散策を楽しめるエリアとなっている。



主な日帰り入浴可能な施設

- ① 箱根湯寮
- ② かつぱ天国
- ③ 湯本富士屋ホテル
- ④ 大和館
- ⑤ 天然温泉 和泉
- ⑥ 萬寿福旅館
- ⑦ 吉池旅館
- ⑧ 箱根花紋
- ⑨ 箱根パークス吉野
- ⑩ 天成園
- ⑪ 箱根の湯
- ⑫ 木もれびの宿 ふるさと
- ⑬ 湯の里 おかだ
- ⑭ 天山湯治郷

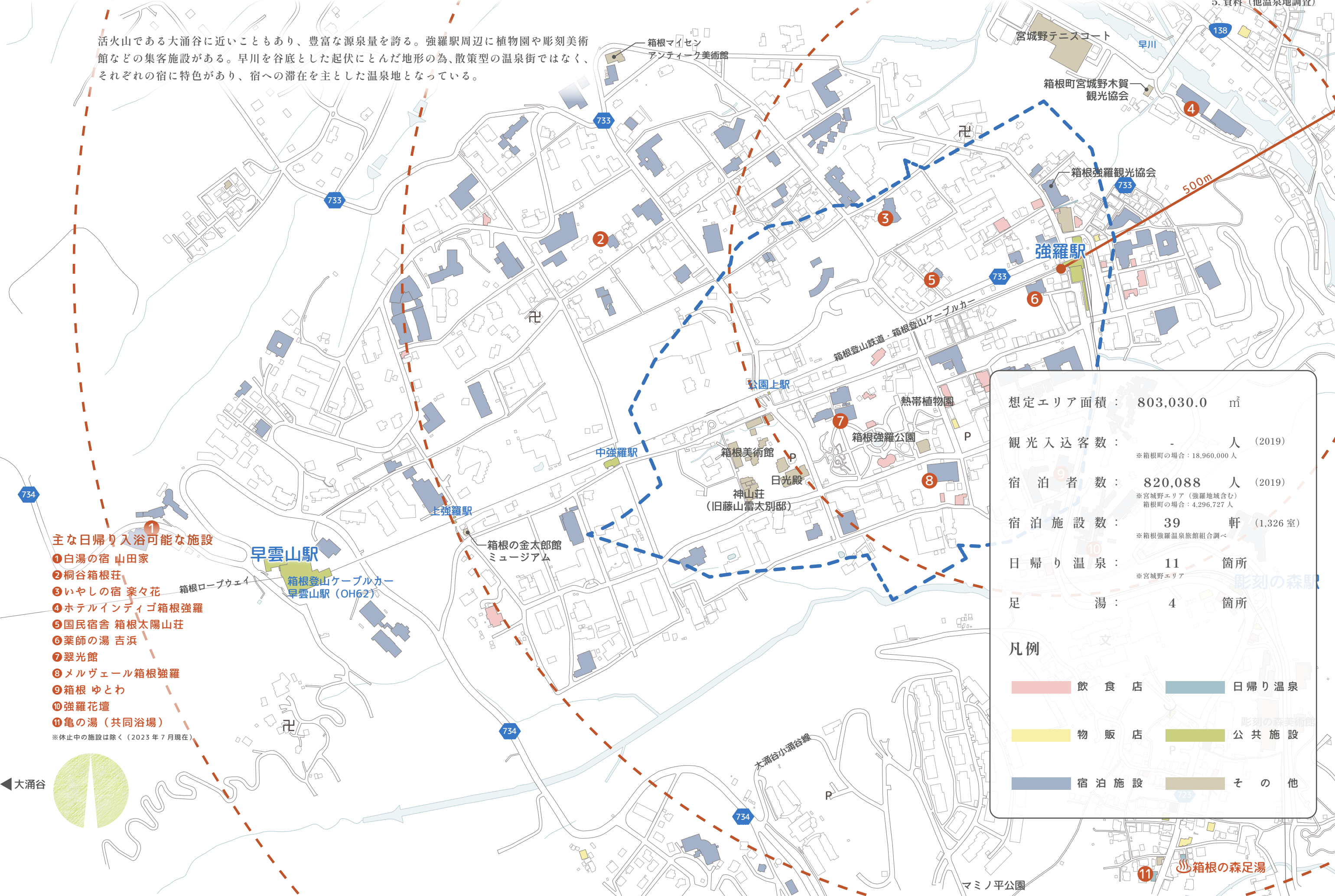
※休止中の施設は除く（2023年7月現在）

想定エリア面積：	627,584.3	m ²
観光入込客数：	-	人（2019）
	※箱根町の場合：18,960,000人	
宿泊客数：	861,710	人（2019）
	※湯本エリア 箱根町の場合：4,296,727人	
宿泊施設数：	38	軒（1,491室）
	※箱根湯本観光協会	
日帰り温泉：	14	箇所
	※箱根湯本エリア	
足湯：	3	箇所

凡例

 飲食店	 日帰り温泉
 物販店	 公共施設
 宿泊施設	 その他

活火山である大涌谷に近いこともあり、豊富な源泉量を誇る。強羅駅周辺に植物園や彫刻美術館などの集客施設がある。早川を谷底とした起伏とんだ地形の為、散策型の温泉街ではなく、それぞれの宿に特色があり、宿への滞在を主とした温泉地となっている。



主な日帰り入浴可能な施設

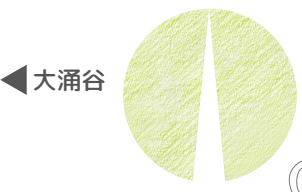
- ① 白湯の宿 山田家
- ② 桐谷箱根荘
- ③ いやしの宿 楽々花
- ④ ホテルインディゴ箱根強羅
- ⑤ 国民宿舎 箱根太陽山荘
- ⑥ 薬師の湯 吉浜
- ⑦ 翠光館
- ⑧ メルヴェール箱根強羅
- ⑨ 箱根 ゆとわ
- ⑩ 強羅花壇
- ⑪ 亀の湯（共同浴場）

※休止中の施設は除く（2023年7月現在）

想定エリア面積：	803,030.0	m ²
観光入込客数：	-	人（2019）
	※箱根町の場合：18,960,000人	
宿泊者数：	820,088	人（2019）
	※宮城野エリア（強羅地域含む） 箱根町の場合：4,296,727人	
宿泊施設数：	39	軒（1,326室）
	※箱根強羅温泉旅館組合調べ	
日帰り温泉：	11	箇所
	※宮城野エリア	
足湯：	4	箇所

凡例

 飲食店	 日帰り温泉
 物販店	 公共施設
 宿泊施設	 その他



大涌谷

箱根の森足湯

関東でも有数の大温泉。溪谷を流れる鬼怒川の兩岸に近代的な大旅館が立ち並んで細長い温泉街を形づくっている。東京から近く日光観光の基地ともなることから団体客をはじめ多くの観光客で賑わったが、バブル崩壊後に多くのホテルが倒産し、建物が撤去されず廃墟として残っている。

想定エリア面積	1,600,332.7 m ²
観光入込客数	2,257,876 人 (2019) <small>※藤原地区</small>
宿泊者数	1,766,122 人 (2019) <small>※宿泊率：78.2%</small>
宿泊施設数	26 軒 (1,996 室) <small>※鬼怒川温泉旅館組合調べ</small>
日帰り温泉	13 箇所
足湯	2 箇所 <small>※エリア内</small>

凡例

 飲食店	 日帰り温泉
 物販店	 公共施設
 宿泊施設	 その他

- 主な日帰り入浴可能な施設**
- ① ホテルサンシャイン鬼怒川
 - ② 鬼怒川パークホテルズ
 - ③ 日光きぬ川ホテル三日月
 - ④ ほてる白河湯の蔵
- ※休止中の施設は除く（2023年7月現在）

